

拒絶理由通知書



特許出願の番号 特願2000-246007
起案日 平成18年 9月28日
特許庁審査官 長屋 陽二郎 8811 3S00
特許出願人代理人 伊東 忠彦 様
適用条文 第29条第2項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

提出期限

12/4 (月)

理 由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において、頒布された下記 of 刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

(請求項1～2, 4～6, 10に対して) 引用文献1

備考:

引用文献1; 特に、図13及び、【0040】段落の「プリント配線板実装構造100は、図13中二点鎖線で示すように背面側プリント配線板ユニット102を利用して別のプリント配線板実装構造と接続させることが可能であり、拡張性を有する。」なる記載を参照。

(請求項3に対して) 引用文献1, 2

備考:

引用文献2; パターン長を等しくしている点。

(請求項8, 9に対して) 引用文献1

備考: 設計的事項の範囲内の限定に過ぎない。

なお、図4の引き出し線「5」は誤記と思われる。

この拒絶理由通知書中で指摘した請求項以外の請求項（７）に係る発明については、現時点では、拒絶の理由を発見しない。拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

引用文献等一覧

1. 特開平 1 1－3 1 2 8 5 4 号公報
2. 特開平 0 8－0 0 7 9 5 1 号公報

先行技術文献調査結果の記録

- ・調査した分野 I P C 第 7 版
 H 0 5 K 1 / 1 4, 1 / 0 2

- ・先行技術文献
 特になし。

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら下記までご連絡下さい。

特許審査第二部 搬送組立（組立製造） 長屋陽二郎
TEL. 0 3（3 5 8 1）1 1 0 1 内線 3 3 9 0